

優秀賞

住宅の部

建築主：社会福祉法人 みづき会
設計：株式会社 仲建築設計スタジオ
施工：株式会社 大城組
所在地：木更津市下宮田字後原5 4 4 番等

中庭を囲んで 6人の家族がくらす 3棟の家

かずさ きぼう さと
上総喜望の郷 おむかいさん



だいちの里のデイルーム。小さな居場所があつまって6人の「住まい」となる

田園風景の広がりの中、緩やかな傾斜の築山を囲んで、25個の小さな寄せ棟屋根（傘ユニットと名づけられた）が互いに支えあうように連なる、知的障がい者支援施設「おむかいさん」。

建物は鉄骨平屋造、既存の「上総喜望の郷」の敷地内に増設、として建築された。屋根と柱が一体となった25のユニットは、渡り廊下で繋がりながら6棟に分かれ、3棟が6人の居住者が家族のように暮らす家、3棟がバックアップ棟（支援員室・医務室・特浴室等）になっている。それぞれの棟は少しずつ表情を変えながら、中庭に面した玄関とデイルーム（リビング+キッチン・ダイニング）を中心に、個室とトイレ・浴室が配置されている。特徴的な傘ユニットを支持する列柱の上部はトップライトとし、デイルームの採光と冬の暖房にも一役担う工夫がされている。同時に大きな空間を分ける壁の役目を持ち、空間の一体感を保ちながら、居住者の小さな居場所を作り出すこと

で、住空間としての充実を図っている。

分散型の建築に合わせて、あらゆるトラブルに対する想定と対策が取られているのも特徴的だ。各棟ごとに対応可能な非常時の電源、ベッドのまま避難できる大きな開口部とバリアフリー対応等、災害時の安全と居住性も確保している。

施設運営者の開設当初からの強い思い「入居者が生涯心地よく暮らす家をつくりたい」を、しっかりと信頼関係のもとに、建築家が丁寧に取り組み、実現している。穏やかな空気の流れる「住まい」である。（夏目 幸子）



いづきの里の玄関ポーチから見る。開放的で、季節や天気、時間の移り変わりが感じられる



傘ユニットがお互いを支え合うことで大きな屋根になる

（撮影/ 西川 公朗）